

# 学習の手引き

令和8年度版  
第8学年



八王子市立いずみの森義務教育学校



# 学習の手引き

学年 8年生	教科 国語	担当 山根 法子
--------	-------	----------

## (1) 学習の目標

- ・言葉の学習を通して語彙の量を増やし、自分の思いや考えをより豊かに表現することができる。
- ・文章や詩を読んで理解したことをこれまでの経験や知識を結びつけ、自分の考えを深めることができる。
- ・話し合い活動や発表を通してより良い話し方・聞き方を身につけ、相手へのより良い伝え方を身に付けることができる。
- ・見通しをもって、自ら進んで学習に取り組むことができる。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>○文学的文章</li> <li>○説明的文章</li> <li>○古文</li> <li>○書く活動</li> <li>○話し合い活動</li> <li>○発表活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文学的文章</li> <li>○説明的文章</li> <li>○古文・漢文</li> <li>○書く活動</li> <li>○話し合い活動</li> <li>○発表活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文学的文章</li> <li>○説明的文章</li> <li>○書く活動</li> <li>○話し合い活動</li> <li>○発表活動</li> </ul>

## (3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期テスト (漢字や言語事項)</li> <li>○小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期テスト</li> <li>○発表・話し合い活動</li> <li>○作文</li> <li>○ノート・プリントの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小テスト</li> <li>○課題の提出状況</li> <li>○ノート・プリントの取組内容</li> <li>○古文の暗唱への取組状況</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科書に出てきた漢字の読み書きをできるようにする。</li> <li>② 語句の意味や文章の内容を理解して、教科書をよく読む。</li> <li>③ 授業で出された課題について丁寧に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 漢字の読み書きができるか、語句の意味を理解しているか確認をし、覚えるまで繰り返し学習する。</li> <li>② ノート・プリントをよく見直し、授業の内容を振り返る。</li> <li>③ ワークの問題を解き、赤ペンで丸付けをする。間違えた問題は繰り返し解き直しをする。</li> </ul>

## (5) 先生からのアドバイス

- ・授業で使うノートは、縦書きで書くことができれば何でも構いません。(横書きのノートは縦書きにして使ってください。)
- ・プリントは、ノートに貼るなど工夫して、無くさないように自分で管理しましょう。
- ・ワークやプリントの提出は、締切日を守り、見通しをもって早めに取り組みましょう。
- ・忘れ物をした場合は、授業の前に先生に伝えましょう。
  - ・普段から文字を丁寧に書くように心がけましょう。(読みにくい字はテストでは×になることがあります。)

# 学習の手引き

学年 8年	教科 社会	担当 戸田 健太(歴史) 小峰 優翼(地理)
-------	-------	---------------------------

## (1) 学習の目標

【地理的分野】・日本の自然環境や人口、産業などの特色を捉える。

- ・日本の諸地域に関して、地形や気候、産業や人口などそれぞれの特色について理解する。
- ・身近な地域を調べる方法を知り、自分のテーマをもとに調査した内容をまとめ発表する。

【歴史的分野】・近世から近代までの歴史の流れや人物、出来事とその関連を捉える。

- ・様々な資料を読み取り、当時の生活や時代の変化などを理解し、まとめるとともに自分の考えを述べる。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<b>【地理的分野】</b> ○日本のさまざまな地域 ・日本の地域的特色 ・日本の諸地域 ・身近な地域の調査 <b>【歴史的分野】</b> ○歴史の大きな流れと移り変わり ・近世	<b>【地理的分野】</b> ○日本のさまざまな地域 ・日本の諸地域 <b>【歴史的分野】</b> ○歴史の大きな流れと移り変わり ・近世	<b>【地理的分野】</b> ○日本のさまざまな地域 ・日本の諸地域 <b>【歴史的分野】</b> ○歴史の大きな流れと移り変わり ・近代

## (3) 評価の方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト ○小テスト ○単元ワークシート ○カラープリント	○定期テスト ○ワークシート、発表 ○調べ学習のまとめ	○ファイル ○定期テストの直し直し ○カラープリント

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○授業のあった日に、その日の内容を振り返る ・教科書を読み(2ページ分)、ファイルを見返す ・授業プリントの問題の振り返りをする。 ○定期的に配られるカラープリントを解く ○授業の前日までに予習の問題に取り組む	○ファイルなどで授業内容を振り返る ○カラープリントやテスト対策プリントを解く(間違えた問題やできなかった問題は直し直し) ○時間的な余裕があれば、自作のまとめノートなどを作成する

## (5) 先生からのアドバイス

- ・8年生になると、学習内容これまでよりも多く、深いものになり、地理的な位置や歴史における時代の流れなど、複雑な内容があつきます。まとめは授業内で完成させます。授業があった日にファイルを見返し、その日のうちに授業内容を定着させるようにしましょう。

# 学習の手引き

学年	8学年	教科	数学	担当:宮内・高橋和・唐亀・岩崎・高橋直 (学期によって担当者が変わります)
----	-----	----	----	--

## (1) 学習の目標

- ・式の計算、連立方程式の計算を定着させる。
- ・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。
- ・図形の定義・定理に基づいて、理論立てて説明・証明することができる。
- ・具体的な場面における確率を求めることができる。
- ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算</li> <li>・連立方程式</li> <li>・1次関数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数</li> <li>・図形の調べ方</li> <li>・図形の性質と証明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の性質と証明</li> <li>・場合の数と確率</li> <li>・箱ひげ図とデータの活用</li> </ul>

## (3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・休み明けテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・休み明けテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・宿題の提出状況</li> <li>・復習・振り返りプリント</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノートの内容</li> <li>・単元テスト</li> <li>など</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容は、すぐに復習し、基礎基本を定着させる。</li> <li>・授業で扱った問題を解き直す。</li> <li>・問題集などの宿題に取り組む。</li> <li>・間違えた問題は、必ずチェックをして、間違えた問題だけを解き直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の振り返り</li> <li>・間違えた問題を、何度も解きなおす。(深く学習)</li> <li>・難しい問題に挑戦する。</li> <li>・「わかる」ではなく「できる」ようになるまで学習する。</li> </ul>

## (5) 先生からのアドバイス

8年生の数学は、7年生の学習してきた内容が基になっています。そのため、上手に勉強することができれば、7年生の復習をしながら8年生の内容を学習することができます。また、2学期に学習予定の1次関数や図形の証明は苦手とする人が増えていますが、授業中になるべく本質を理解できるように集中して臨めば大丈夫です。

数学では、学校で習って「できるつもり」になっていても、実際に問題を解いてみると「できない」ということがよくあります。頭で理解したつもりになっていただけで、実際は本質まで理解しきれていないのです。多くの演習量を確保して、人に説明できるレベルまで完全に理解することが必要です。この1年間で、「できない」問題を「できる」問題に変えていきましょう。

# 学習の手引き

学年	8年生	教科	理科	担当	小澤・菅原
----	-----	----	----	----	-------

## (1) 学習の目標

- ・ 自然の事物・現象の中に問題を見いだす。(⇒不思議だなと感じることや、どうしてだろうと疑問をもつことが大切。)
- ・ 見通しをもって観察、実験などを行う。(⇒何のために観察や実験を行うのか、目的をしっかりと理解して取り組もう。)
- ・ 得られた結果を分析して解釈する。(⇒観察や実験からどんなことが分かるのか、自分の頭でしっかり考えよう。)
- ・ 単元ごとに振り返りを行い、次の学びにつなげる。

このような学習活動を通して、後期課程での3年間で、「問題を科学的に探究する力」を育ててほしいと考えています。

そのために、8年生では、特に【**解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈すること**】に力を入れていきます。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○生物の体のつくりとはたらき ○電流とその利用	○生物の体のつくりとはたらき ○電流とその利用 ○化学変化と原子・分子	○地球の大気と天気の変化 ○化学変化と原子・分子

## (3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト・小テスト 等</li> <li>・実験のパフォーマンステスト※</li> <li>・実験への取り組み※</li> </ul> <p>(※基本的な操作が習得できているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート・レポート(基本的な技能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト・小テスト 等</li> <li>・ワークシート・レポート</li> </ul> <p>(①考察の記述内容 ②表やグラフや図を使ってわかりやすくまとめられているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主レポート・ノート (口頭での論説含む ◎+α ◎継続)</li> <li>・振り返りシート (◎知識技能の活用 ◎対話を通じた気づき ◎課題解決への試行錯誤)</li> <li>・イメージマップ (単元の内容に関して ◎自己の成長や変容を表現 ◎用語の量・内容・関係)</li> <li>・実験に主体的に取り組む姿勢</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で習ったことは、その日のうちに理解すること。解らないことは、次の授業までに解決しよう。毎日の積み重ねが大事です!!</li> <li>○気になったこと、疑問に思ったことは、どんどん調べてみましょう。授業以外の時間で、主体的に粘り強く学習に取り組むことにより、問題を科学的に探究する力を大きく育てることができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験は、主に授業で学習したことから出題します。まずは、教科書、ノート、授業で使用したプリントを見直しましょう。</li> <li>○見直しが終わったら、問題集や、プリントを何度も解いてみましょう。初めに解くときには、間違えた問題にしるしをつけましょう。2回目・3回目と、間違えた問題にくりかえし取り組み弱点が克服できます。</li> </ul>

## (5) 先生からのアドバイス

8年生の理科では肉眼で見ることができないような現象を多く扱います。教科書にのっている図やモデルを参考にしてイメージを膨らませてください。また、実験では「結果」だけでなくそこから何を「考察」することができるかが重要です。自分の理解しやすい方法でまとめましょう。実験や観察がたくさんありますので、楽しく学習して理科を好きになってください。

# 学習の手引き

学年 8年	教科 英語	担当 小川 細川 井上 長岡 秋山
-------	-------	-------------------

## (1) 学習の目標

【聞くこと】説明や日常の会話、身近な事柄についての簡単なニュースなどを聞いて必要な情報や内容を聞き取ることができる。

【読むこと】コラムや短い物語を読んで、大まかな内容を読み取ることができる。インタビュー記事などを読んで、意見のポイントなどを読み取ることができる。

【話すこと(やりとり)】自分の思いや考えを即興で話すことができる。身近な話題や社会的な話題について内容を踏まえて話し合いができる。

【話すこと(発表)】関心のある事柄について即興で話すことができる。日常的な話題や社会的な話題について自分の考えや気持ちなどを話すことができる。

【書くこと】事実や自分の考えを整理してエッセイやポスターを書くことができる。読んだ英文をふまえて、自分の考えや理由を書くことができる。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
Lesson1	Lesson4	Lesson7
Lesson2	Lesson5	Lesson8
Lesson3	Lesson6	Project3
Project1	Project2	Reading Lesson3
Reading Lesson1	Reading Lesson2	

## (3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト(単語・リスニングテスト)</li> <li>・休み明けテスト</li> <li>・パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト(リスニングテスト)</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>(スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・授業中の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>(スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション)</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>○復習を大切にしよう。</li> <li>・BINGO を書いてくる(単語の確認・復習)</li> <li>・ノートに何回も声を出して読みながら英文を書く。</li> <li>・イントネーションやリンキングを意識して音読する。</li> <li>・学習した表現を使って、自分の思いを書いてみる。</li> <li>・分からないことは必ず質問し、疑問を解消する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークなどで間違えた問題の見直しを行う。</li> <li>○重要表現の日本語を英語で書けるようにしておく。</li> <li>○長文を読む練習をしておく。</li> <li>○自分が伝えたいことを簡単な英語で表現できるようにしておく。</li> <li>○ラジオ講座や YouTubeなどを視聴し、自然な速さの英文に慣れる。</li> </ul>

## (5) 先生からのアドバイス

7年生では自分のことや身近なことについて伝える表現を学習してきました。そこで学習したことをもとに、8年生では社会的なことについても自分で考え、やりとりができるようにしていきます。伝えたいことが相手にきちんと伝わるように、文法や単語の知識を身に付けていきましょう。また順序や会話の流れを意識して話したり書いたりできるようにしましょう。

# 学習の手引き

学年	8年生	教科	音楽科	担当	木下知美
----	-----	----	-----	----	------

## (1) 学習の目標

- ・音楽活動の楽しさを体験し、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばす。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱「翼をください」</li> <li>○歌唱 合唱コンクール「課題曲」</li> <li>○鑑賞「フーガ短調」</li> <li>○器楽「箏」</li> <li>○指揮</li> <li>○楽典・リズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱「夏の思い出」</li> <li>○歌唱 合唱コンクール「課題曲」「自由曲」</li> <li>○鑑賞「交響曲第5番ハ短調」</li> <li>○楽典・リズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱「卒業式の歌」</li> <li>○鑑賞「アイダ」「郷土の祭りや芸能」</li> <li>○楽典・リズム</li> </ul>

## (3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークやプリント</li> <li>・実技テスト(歌唱・指揮等)</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークやプリント</li> <li>・実技テスト(歌唱・指揮等)</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカード</li> <li>・授業プリント</li> <li>・提出物</li> <li>・授業態度</li> <li>・実技テスト(歌唱等)</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<p>実技教科は週1回しかないので、毎回の授業を大切に積極的に受けてください。分からないことを、すぐに聞くことも大切です。</p>	<p>授業で学習した内容を思い出し、教科書、ワーク、プリントを中心に復習してください。</p>

## (5) 先生からのアドバイス

毎回の授業を大切に受けてください。実技教科なので、身体で表現をすること、自分の言葉(文字や発言)で表現することが大切です。音楽の授業で身に付けるべき基本は7年生にあり、その後3年間繰り返し出てきます。7年生で学習したことをもう一度復習しておきましょう。歌うこと、音楽を聴くこと、仲間とともに学ぶことが楽しくなるような雰囲気を作りながら、一緒に授業を進めていきましょう。

# 学習の手引き

学年	8年	教科	美術	担当	隆藤 さえ子
----	----	----	----	----	--------

## (1) 学習の目標

- ①ものごとを捉える造形的な視点について理解する。
- ②意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- ③自然や美術作品などの良さや美しさ、表現の意図や工夫、機能美を感じる。
- ④美術の働きについて独創性・総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練る。
- ⑤主体的に活動に取り組み、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

## (2) 学習内容

I 学期	2 学期	3 学期
○レオナルドダビンチ、ミケランジェロ、ラファエロについて学ぶ ○一点透視図法で描く、理想の家・部屋・街	○てん刻	○葛飾北斎について学ぶ ○木版画制作

## (3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
定期テスト、作品	ワークシート(発想・鑑賞・美術史)、定期テスト	作品(制作中の様子)、ワークシート(発想・鑑賞・美術史)、 <u>振り返りシート</u>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	テスト前の学習
○発想の手助けとなるような資料を準備する。クロムブックを用いても良い。 ○思いついたアイデアがあれば、スケッチやメモなどをしておいて、それを授業に持ち込む。また、授業以外の時間でも発想や構想を練っておくとスムーズに制作できる。 ○作品の制作意図や、他者の作品を見て思ったことを具体的に説明できるようにしておく。	○筆記問題については、テスト範囲の内容を繰り返しノートに書き写すなどして覚える。(技法や美術史、作家に関する内容が多い。) ○記述問題も出題するので、日ごろから自分の考えを文章にまとめる練習をしておく。

## (5) 先生からのアドバイス

- 日ごろから身の周りをよく見て「美しいな」「素敵だな」「カッコいいな」と、感動する気持ちを大切にしてください。良いものを見て感動したら、メモやスケッチ、画像などを残しておくことで授業にも生かれます。
- 発想や構想を練る段階で、時間がかかってしまう生徒が多いです。授業時間内に発想や構想の段階で止まってしまうと、その先が進まなくなってしまう、下描きを描いたり色を塗ったりする時間が無くなってしまいます。制作の時間配分と、事前準備が重要です。自宅でもアイデアを練るなど授業以外の時間を積極的に活用しましょう。
- 主として学校で制作した状況を評価していきます。授業中に完成させることが基本ですが、休んだりして制作に遅れが出た場合、放課後の補習に参加して必ず完成させてください。
- 既存のアイデアや作品を参考にするのはかまいませんが、必ず自分なりの工夫を加えましょう。あなたにしかできない作品を期待しています!

# 学習の手引き

学年	8年生	教科	保健体育	担当	津田・駒沢・久保木
----	-----	----	------	----	-----------

## (3) 学習の目標

- (ア) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

## (4) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上競技(短距離走、リレー)</li> <li>○体づくり運動</li> <li>○体カテスト</li> <li>○器械運動(マット運動)</li> <li>○体育理論</li> <li>運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水泳</li> <li>○球技(ゴール型):サッカー</li> <li>○球技(ゴール型):バスケットボール</li> <li>○柔道</li> <li>○保健</li> <li>傷害の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ダンス</li> <li>○球技(ネット型):バレーボール</li> <li>○陸上(ハードル走)</li> <li>○保健</li> <li>健康な生活と疾病の予防</li> </ul>

## (3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・授業内での技能の習得具合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・学習カード、保健のプリントの記述内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の観察</li> <li>・学習カード・保健のプリント等における記述</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<p>「知識・技能をどれだけ身に付けたか(習得)」だけでなく、「学習した知識・技能をどのように生かしているか」「自らの考えで、いかに活動の仕方を工夫しているか」「自らの考えで、いかに活動の仕方を工夫しているか」などを常に意識して知識・技能や思考力・判断力・表現力を身に着ける。</p>	<p>【定期テスト】実技の学習カード・保健のプリント、教科書を使って学習する。 授業で説明した内容、学習カードの内容をよく確認する。</p> <p>【実技試験】 単元のはじめに評価の基準を説明するので、単元を通して技能を身に付けられるようにする。</p>

## (5) 先生からのアドバイス

- ・各運動種目の特性を理解し、目標をもって運動に取り組みましょう。
- ・自ら進んで学習し、運動の喜びや楽しさを体感しましょう。
- ・仲間と協力し励まし合い、互いに認め合いながら運動に取り組みましょう。
- ・見学の場合は、決められた手順をとり、見学態度を考えて見学しましょう。
- ・試験(実技、記録測定、定期テストなど)を頑張りましょう。普段から授業を大切にしましょう。
- ・得意・不得意な種目、いろいろありますが運動を楽しく取り組めるように協力していきましょう。

# 学習の手引き

学年	8年生	教科	技術科	担当	伊達裕二
----	-----	----	-----	----	------

## (1) 学習の目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## (2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○生物育成の技術(水耕栽培) ○エネルギー変換の技術(機械) (動くオルゴール製作)	○エネルギー変換の技術 (動くオルゴール製作)	○エネルギー変換の技術(電気) (ポケットライト製作)

## (3) 評価の観点及び材料

項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点	・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。 ・生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。 ・見通しをもって安全に作業できる。	・生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで(試行錯誤をいとわずに粘り強く)実践しようとする。
材料	・定期考査 ・実技	・定期考査 ・実技	・提出物の内容 ・作業の様子

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
・授業中はメモを取る(提出)。 ・材料、エネルギー、生物育成、情報などに関心をもつ。 ・作ってみる、修理してみる。	・授業内容の復習。 ・授業プリント、教科書を理解する。

## (5) 先生からのアドバイス

- ・社会で起きているいろいろな問題に興味をもちましょう。
- ・自分で考えて作ってみたり、簡単に捨てずに修理してみたりしよう。

# 学習の手引き

学年 8学年	教科 家庭	担当 梶木美穂
--------	-------	---------

## (5) 学習の目標

- ・自分の衣生活を振り返り、快適な衣生活を送るための課題を見つけ、解決方法を考える。
- ・健康で豊かな衣生活を送るために、必要な知識や技術を身に付ける。
- ・住まいの役割を知り、生命と生活を守る住まいについて考える。
- ・自分の住まい方を振り返り、快適に住むための工夫を考える。

## (6) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・衣服の働き</li> <li>・目的に応じた着用</li> <li>・ミシンの使い方</li> <li>・衣服の構成</li> <li>・被服実習(コンビニバック)</li> <li>・衣生活に関する情報について(取り扱い表示等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の構成</li> <li>・ミシンの使い方</li> <li>・被服実習(ミニチュアパーカー)</li> <li>・衣服の手入れ</li> <li>・糸や布の成り立ち</li> <li>・繊維の種類と利用法</li> <li>・既製服について</li> <li>・調理実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服実習(ペンケース)</li> <li>・安全で快適な住生活</li> <li>・自然災害への備え</li> </ul>

## (3) 評価の観点及び方法

項目	I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業プリントやワークノートの記録</li> <li>・作品制作の技能</li> <li>・ミシン操作</li> <li>・衣服の補修技能</li> <li>・衣服の手入れの技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・作品制作</li> <li>・観察・記録</li> <li>・衣生活に関する情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリントやワークノートの提出状況</li> <li>・課題提出状況</li> <li>・作品制作の進捗状況と振り返り</li> <li>・ミシン操作の状況</li> </ul>

## (4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示された作業や課題に取り組む。</li> <li>・日常の衣生活に関する作業に関わるように行動する。</li> <li>・衣生活に関する情報を得るように、ニュースや新聞、広告などを見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や授業プリント、ワークノートの内容を見直し、重要な部分を確認する。</li> <li>・作品制作の技能を説明文と実際の作業を関連させて理解する。</li> </ul>

## (5) 先生からのアドバイス

- ・衣服の管理や手入れなどの衣生活に関わる作業を時々やってください。清潔で気持ちの良い衣服を身に着けるための作業ができるようになることで、自立した生活に近づいていきます。
- ・衣服製作も頑張ってください。考えながら手を動かすことで、脳の活用につながります。根気よく作業することからも、可能性が広がっていきます。一緒に作業していきましょう。

